

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名		後期高齢者医療広域連合負担金事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康				
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	高齢者支援課	担当者名	松岡将司				
	基本事業	46	保険医療制度の健全な運営			所属班	高齢者保険班	(内線)	2116				
法令根拠		高齢者の医療の確保に関する法律											
予算科目	会計	1	款	3	項	1	目	13	事業連番	11250	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	2
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 20 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		コスト削減優先度評価結果		11					

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
【事業の内容】・医療給付事業本事業は医療保険制度の改正により、平成20年度より老人保健制度に代わり後期高齢者医療制度が開始されることによる新たな事業である
・後期高齢者医療広域連合負担金・保険料軽減額に係る負担金の支出・市町村共通経費の支出及び療養給付費負担金(市町村定率1/12)の支出
【業務の流れ】
・後期高齢者医療広域連合より、請求があるのでその請求を支払う。なお、保険料軽減分は県から3/4補助があるので、その分を歳入で受け入れ、市の持ち出し分1/4の金額を合計して支払う。
【主な予算費目】広域連合負担金(市町村共通経費16,915千円、療養給付費市町村定率1/12負担分302,679千円
後期高齢者医療特別会計への繰入金(事務費3,495千円 基盤安定負担金79,352千円)

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)
・後期高齢者医療広域連合事務費負担金:16,897,000円
・後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金:302,696,132円
・事務費繰出し金:3,495,000円
・保険基盤安定負担金:76,699,257円

21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
・後期高齢者医療広域連合事務費負担金:18,521,000円
・後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金:358,791,058円
・事務費繰出し金:8,068,000円
・保険基盤安定負担金:81,431,600円

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 回
→ アイ 負担金支払回数

② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等
熊本県後期高齢者医療広域連合

⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 件
→ アイ 広域連合数

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
後期高齢者医療制度の安定運営

⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 円
→ アイ 広域連合負担金

④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)
・医療制度が適切に運営される。

⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) 円
→ アイ 一般会計からの繰入額

⑨上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) %
→ アイ 保険給付に占める保険料比率

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画 ~ 年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)		
事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0	
	都道府県支出金	千円		59,513	57,524	61,074	62,000	63,000		
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円			23,333	22,670	22,904	23,500		25,000
	一般財源	千円			319,594	319,593	385,331	400,000		420,000
	(A) 事業費計	千円	0	0	402,440	399,787	469,309	485,500		508,000
うち指定経費	千円									
うち時間外、特種勤務手当	千円									
人件費	正規職員従事人数	人		2	2	2	2	2	0	
	延べ業務時間	時間		40	40	40	40	40		
(B)人件費計	千円	0	0	159	159	159	159	159	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	402,599	399,946	469,468	485,659	508,159	0	
活動指標	回			21	21	21	21	21	目 標 数 値 画 22 年 度	
対象指標	件			1	1	1	1	1		
成果指標	円			402599	399946	469468	485659	508159		
上位成果指標	円	686529	685758	590200	669405	610000	630000	640000		
	%	(43.5) 32.5	(39.4) 28.7	(45.0) 35.0	33.8	(45.0) 35.0	(45.0) 35.0	(45.0) 35.0		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
・健康保険法の一部改正に伴い、平成20年度から原則75歳以上を対象とした後期高齢者医療制度が開始される。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・後期高齢者医療制度においては、熊本県後期高齢者医療広域連合が保険者として制度の運営を行うため、被保険者が負担する保険料及び市町村が負担する公費等を適正に負担し、安定運営できるように努める必要がある。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
昨年度から制度化されてスタートしましたが、年金天引きされるため勝手に保険料を差し引いている等の苦情が多数あった。また、社会保険の被扶養者は保険料を納めていなかったため、どうして保険料を払わないといけないのかという意見があった。このようなことが全国的にあったので、国が制度を変更したため、また、混乱を生じてしまった。

事務事業名	後期高齢者医療広域連合負担金事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の後期高齢者医療制度の安定運営ができるので、上位目的の医療制度が適切に運営されるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 国が定めた社会保険制度であり、75歳以上の高齢者が医療を受ける上で必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象・意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 後期高齢者医療広域連合が各市町村ごとに定めた金額を支払う事務のため。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 法令により定められており、廃止・休止はできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 当該事務事業以外ない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 当該事業に係る軽費のほとんどが給付にかかる経費のため。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 毎月の支払事務のみのため
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 75歳以上の高齢者全ての人に医療を受ける権利があるため公平性は保たれている。ただ、医療費が高くなる人とそうでない人がいることは否めない。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)